

2023/24 シーズン 神奈川県 Jr 育成選手方針と予定

2023 年 11 月 19 日

公益財団法人神奈川県スキー連盟
競技本部

神奈川県スキー連盟は「心の豊かな、世界に羽ばたく」選手育成を目指しております。世界に羽ばたく選手の育成と同時に、スポーツを通して立派な人間としても育たなければなりません。又スポーツを通して学んだ「スポーツマンシップ」を社会においても厳守しなければなりません。皆さんも十分理解していると思いますがスポーツをする背景には特に合宿期間中は沢山の関係者が協力を頂いております。皆さんにご迷惑などを掛けないように選手の皆さんは厳守お願いいたします。又私たち指導者は勿論、保護者の皆さん共々下記行動規範について日頃からご指導下さいますようお願いいたします。

1・挨拶は大きな声ではっきりと

宿の人、リフト係りの人、他のチームのコーチ及び選手には大きな声で挨拶をすること

2・休憩時間のスキーの脱ぎ捨てはしない

必ずスキー置き場にそろえて置くこと、特に大会期間中のスタート、ゴールエリアでのスキーは一般の人に迷惑にならないように決められた位置に置くこと。

3・レストラン内では

レストランは一般の人でも使用するエリアです、大きな声で騒いだり、荷物を放置しない事。

4・宿泊施設では

朝食、夕食は残さず食べる事。部屋は常に整理整頓に心がけ、最終日は布団を綺麗にたたみ、ゴミは所定のごみ箱に。廊下を走ったりしない事。消灯時間を厳守すること。

5・携帯電話・タブレットの使用について

練習時間中の緊急時以外携帯電話、タブレットの使用を原則禁止します。(リフト、待ち時間等)但し大会時のリザルト関係の情報収集のみ許可します。

*育成選手は他の選手及び関係者は注目しているので常に模範となる行動をするように心がけてください。

6・学年を尊重した名前の呼び方、言葉遣い、配慮を留意してください。上級生は率先、指示だし、下級生は素早く行動、指示受け動く。

■2023/24 シーズンの方針

2022-2023 シーズンのユース世代は全国大会レベルでの各クラス入賞者も輩出できたシーズンであり、県内のユース選手のレベルが上がってきています。

今シーズンも引き続き強化体制を維持し、新たな企画、サポート体制でユース強化事業を行っていきます。

① コーチングスタッフ体制

県スキー連盟 競技副本部長	中田 圭（全体統括責任者）
県スキー連盟 競技部専門委員	平賀 淳人（事務 マネージャー 県連コーチ）
県体協専任コーチ	金子 信太郎（アドバイザー 雪上専任コーチ）
県体協専任コーチ	桑本 旅人（指導 雪上専任コーチ）
県体協専任コーチ	大野 高峰（指導 フィジカル専任コーチ）

② 練習環境の提供

- ・シーズン前後強化合宿（雪上トレーニング、陸トレ、座学他）
- ・SAK 育成選手のみで3月の野沢温泉合宿（カンダハーコース）を実施
- ・常設練習環境の紹介（Yuasa snow Academy）
- ・フィジカル強化（体力強化、ポテンシャル、スキー競技での体の使い方を専門的指導）

[12月合宿]

- ・南関東合同合宿 A

12月2日(土)～12月3日(日)

場所：スノーパークイエティ

既に詳細は周知済の内容となります。

[1月合宿]

- ・南関東合同合宿 B

1月13日(土)～1月14日(日)

場所：野沢温泉（カンダハーコース）

対象者：全中予選通過者、南関東ユース野沢大会参加者、SAK 育成選手

※県連ジュニア大会、中学3年生対象の国体予選と重なっているのでご注意ください。

大会参加、合宿参加は自由選択とします。

[3月合宿]

- ・県連強化合宿

3月9日(土)～3月10日(日)

場所：野沢温泉（カンダハーコース） 対象者：SAK 育成選手

[4月合宿]

・南関東合同合宿 C 及び D

4月13日(土)～4月14日(日) (予定期間)

4月20日(土)～4月21日(日) (予定期間)

場所：尾瀬岩倉

6月～10月は月1回のフィジカルトレーニングを実施します。

※パフォーマンステスト(体力数値の可視化)も実施予定。

6月と10月に1回の測定を行い、選手自身の今の実力と夏強化後の変化を数値で確認できます。

■宿泊について

指定宿舎は各レースについてはありません。但し育成選手チームでミーティングを実施する場合がありますので、コーチ宿泊先の近隣に宿泊する事を推奨します。

尾瀬戸倉：尾瀬高原ホテル又はロッジフレンドリー

野沢温泉：ホテル大瀧 ※全国中学大会は除く

尾瀬岩鞍：岩鞍リゾートホテル

■TCMでのボードコントロールについて

全国中学校大会・ジュニアオリンピック以外のユースレースのボードコントロールは原則各自の責任でお願いします。ボードコントロールができない場合は①まず選手間の依頼先を探す。②TCMに出席する担当コーチへ相談する。としてください。コーチはできるだけはフォロー、サポートはする様に致します。また、オンラインTCMの場合は各選手は可能な限り、参加をお願いします。

■派遣依頼書の発行ルール

以下の事業に限って希望者へ各事業の10日前までに希望申請を平賀まで直接お願い致します。

2月の全国中学大会

3月のジュニアオリンピック

■移動手段について

各事業への現地までの移動手段については選手父兄間での乗り合い等に対応をお願い致します。原則コーチスタッフへの依頼はお控えください。(期間中の宿～雪上の送迎等は除く)

■ジュニアオリンピック選考基準

※正式決定はSAJからの出場枠決定次第、県連HPで正式発表予定。

○選考対象

K1：SAJ会員登録を済ませている事が前提条件（※申込み11/30まで）

K2：SAJ競技者管理登録をされており、神奈川県に在住または在学者とする。

例）全中予選を他県で出場した場合は、神奈川県推薦選手の対象としない。

※K2は本シーズンより、県連出場枠は廃止となり、南関東ブロック枠のみの選考となります。詳細については後記に示す。

○選考対象レース

K1

『北関東ユース戸倉大会 GS SL』

『南関東ブロックユース野沢温泉大会 GS SL』

計GS2レース SL2レース 計4レース

○選考基準

【K1選手】

対象レースでのワールドカップポイント方式。全大会種目別合算ポイントで選手を選考する。

※ポイント付与の表は次ページ参照。

例1) A選手 GS1位100P SL5位45P B選手 GS2位80P SL2位80P

A選手 100P+45P=145P B選手 80P+80P=160P

したがって、B選手が選考1位、A選手が2位となる。

例2)

大会公式リザルト			加算点
順位	氏名	所属	
1	神奈川 一郎	神奈川県	→100点
2	群馬 一郎	群馬県	
3	東京 一郎	東京都	
4	東京 二郎	東京都	
5	神奈川 二郎	神奈川県	→45点
∧			
30	神奈川 三郎	神奈川県	→1点

ポイント計算方法は各選考大会に対して県内選手のみを抜粋した順位加点式ではなく、大会公式リザルト順位での加点式となる。

選考内で同ポイントの場合対象レースのレースポイントの合計の少ない方を優先する。
大会中止等で選考ポイントが付与ができない場合は、競技本部長推薦で選考する。
選考後に何らかの理由により、辞退した場合の繰り上げ選考については現地大会事務局の許可を得て期日までに変更が可能な場合、繰り上げ選考をおこなう。

【K2 選手】

1. 選考の優先順位

①自力枠

- 1) 前年度本大会 K2 カテゴリーにおいて各種目 10 位以内に入賞した選手
- 2) 当該シーズンの全国中学校スキー大会各種目 10 位以内入賞者
- 3) 2008 年生まれで当該シーズンの全国高校スキー大会各種目 10 位以内入賞者
- 4) 当該シーズンの全日本ジュニアスキー選手権(SG)で 10 位以内入賞者
- 5) 当該シーズンの強化指定 D の選手
- 6) 前年度大会 K1 カテゴリーにおいて各種目 5 位以内入賞者（中学校 1 年生が対象）

↓

② ①以外の選手を対象に、南関東ブロックの推薦枠を、下記の選考方法にて選考をする。
※ブロック推薦枠は SAJ ポイントリスト No.7（12 月 5 日発行）での競技者登録数を基に算出。

2. 南関東ブロック推薦枠選考レース・選考方法

各ブロックに割り当てられたエントリー数内で、各ブロックで選抜された競技者

『南関東ブロックユース野沢温泉大会（大回転および回転）を選考レースとする。（2 種目同一選手）』（K2）

- ・南関東ブロックユース野沢温泉大会で南関東ブロック選手の内部順位で上位より選考する。上位 30 位にジュニオリポイント付与する。
- ・ジュニオリポイントは、ワールドカップ方式のポイントを付与する。
- ・大回転競技、回転競技、それぞれのポイント加算で選考する。
- ・選考枠内で同ポイント同順位の場合は、南関東ブロックユース野沢温泉大会開催予定日時点での SAJ ポイント（出場選手の内、GS または SL のポイントランキング上位を採用する、ランキングが同順位の場合は GS 優先）を選考する。
- ・選考後、辞退者が出た場合、期日内（※後日連絡）であれば繰り上げ推薦をする。
- ・高校 1 年生の早生まれの選手で 2024 年度全国高等学校スキー大会に出場した選手は、南関東ブロックの推薦枠内にてプロテクトする。
- ・大会中止等でジュニオリポイント付与ができない場合の選考方法について
第一優先 群馬ユース I 尾瀬戸倉大会の成績を採用する。
※選考方法は上記野沢温泉大会と同様とする。

第二優先 群馬ユース I 尾瀬戸倉大会も中止の場合、南関東ブロックユース野沢温泉大会開催予定日時点でのSAJポイントの上位者とし、その場合は種目別の選考となる。

※尚、南関東ブロックユース野沢温泉大会において、どちらか 1 種目中止になった場合は、中止になった種目のみ上記の選考方法にて選考する。

W.C.ポイント方式とは？

選手名	レース 順位	SAT 順位	ジュニオリ ポイント
	1		100
	2		80
	3		60
	4		50
	5		45
	6		40
	7		36
	8		32
	9		29
	10		26
	11		24
	12		22
	13		20
	14		18
	15		16
	16		15
	17		14

	27		4
	28		3
	29		2
	30		1
	31		0



■ ルールの周知

① フッ素系ワックスの使用禁止

2022/2023 シーズンより、FIS 及び SAJ は、FIS、SAJ 公認大会において、フッ素成分を含むすべてのワックスの使用を禁止としました。神奈川県スキー連盟もこれに順じ、先シーズンより全てのレースで使用禁止となります。

② スタート数の制限

- ・ 中学校 3 年生・高校 1 年生早生まれは制限なしとする。
- ・ 技術系 (GS/SL) 合計、中学校 1・2 年生は 12 レース以内とする。
- ・ 「SAJ ポイントレースにおいて公式成績表が発行され、1 本目の DNS 以外で名前が掲載されている場合」スタートしたものとす。DNQ(予選落ち)、DNF、DQ、2 本目の DNS もスタートとみなされる。
- ・ 12 レース以内の項目に違反した場合は、当該選手の違反したレースでの取得ポイントを無効とする。但し、違反を知らず参加する等の悪質な違反者に対しては次年度 1 月 31 日まで SAJ 公認大会のエントリーを禁止する。
- ・ 全国中学校スキー大会、JOC ジュニアオリンピックカップのスタートはこの制限に含め

ない。

・レース母数が少ないため、K1については特に制限を設けないが、K1は練習第一で色々な経験を積む時期です。推奨は関東ユースレースシリーズ（戸倉、野沢）、南関東ブロックユース（戸倉）です。

③ マテリアルルールの確認

使用可能スキー早見表（数値は最小値とする。）

種目	性別	数値	FIS Level3以上	FIS Level2以下 SAJ (除ユース)	SAJ (ユース)				SAJ (マスターズ)
					K2 (FIS U16と同等)		K1 (FIS U14と同等)		
						SAJ特別ルール		SAJ特別ルール	
DH	女子	長さ	210cm	205cm	-	-	-	-	-
		ラディウス	50m	50m	-	-	-	-	-
	男子	長さ	218cm	213cm	-	-	-	-	-
		ラディウス	50m	50m	-	-	-	-	-
SG	女子	長さ	205cm	200cm	183cm	175cm	-	-	180cm*2
		ラディウス	40m	40m	30m	27m	-	体格、体力、技能 に適したもの	-
	男子	長さ	210cm	205cm	183cm	175cm	-	-	185cm*2
		ラディウス	45m	45m	30m	27m	-	-	-
GS	女子	長さ	188cm	183cm	188cm以下	-	188cm以下	130cm	175cm
		ラディウス	30m	30m	17m	-	17m	14m	-
	男子	長さ	193cm	188cm	188cm以下	-	188cm以下	130cm	180cm
		ラディウス	30m	30m	17m	-	17m	14m	-
SL	女子	長さ	155cm	155cm	130cm	-	130cm	-	-
	男子	長さ	165cm	165cm*1	130cm	-	130cm	-	-

*1:U18 1年目のみ、-10cmの許容差を認める。

*2:女子55歳以上、男子65歳以上は長さに関しては規定しない。

*スキー長はスキー板に記載されている数値で判断する。

*JOCジュニアオリンピックカップK1カテゴリーは上記のスキーを利用すること。

・中学3年生で国体本選を目指している選手は予選会からSAJシニア区分のマテリアルルールになるので注意のこと。（板、レーシングスーツ等）

④ スラロームにおける完全停止について

FISルール改訂により、7月24日にSAJから発信されたスラローム競技では完全停止後の滑走が一切禁止になった。しかし、2023/2024シーズンは、暫定的にスラローム競技におけるFISルール(ICR)の変更を、国内で開催するFIS公認大会およびマスターズ公認大会を除き、すべてのSAJ公認大会から除外することになった。